

教員の魅力発信 Vol.2

Vol.2

子どもたちの笑顔のために
～先生の仕事って…～



©ていたん&ブラックていたん,北九州市



■「環境が人をつくる、その環境は人がつくる」という言葉があるように、先生たちは教室や廊下などを整頓したり作品掲示を行ったりしています。



小・中・特別支援学校 共通

先生たちの放課後

- 教室、廊下などの整頓
- 欠席者への連絡や家庭訪問
- 授業の準備
- ミニテストやノートのコメントの記入や評価
- 学校全体に関わる業務(行事の計画や事務処理など)
- 会議や研修、打ち合わせ など

「先生って、子どもたちが帰ったあと、何をしてるんだらう…」と聞いたことはありませんか？
「中学校時代、忘れ物を取りに学校へ戻ったとき、教室でひとり、生徒の作品にコメントを書いて掲示している担任の先生の姿を見て、『先生って、私たちが知らないところにいるんなことをしてくれてるんだな』と嬉しくなった」という話を聞いたことがあります。
「教員の魅力発信」第二回目は、小・中・特別支援学校で活躍されている先生たちの「放課後」について紹介します！

先生たちの「放課後」！



■毎日、次の日の授業をどう進めるかを考えながら、教材研究や授業の準備をしています。



■学習したことをいつでも振り返ることができるようにポイントなどをまとめ、教室や廊下に掲示しています。



■先生は、子どもたちの成長や友人のすぐれた取組みがわかるように、手本となるノートにコメントを添えて掲示するなど、子どもたちが帰った後も、さまざまな仕事を計画的に行っています。スクールサポートスタッフがいる学校では、印刷や掲示作業を分担して行っています。

先生たちは、放課後も子どもたちのことを思っています！



©ていたん,北九州市

中学校



部活動休養日があるので、練習にもメリハリができますね！



©ブラックていたん,北九州市

■部活動では、学級では見られない生徒の姿を発見したり、担当学年以外の生徒の様子がわかったりするなど、先生たちにとって大切な時間となっています。



令和元年度 杉浦奨学金贈呈式

芸術・文化、学術、スポーツの各分野で優れた成績を残し、将来の北九州市の文化振興の担い手となる人材を育成するため、北九州市文化振興基金及びその運用益の一部をもって、修学資金の一部が給付される「杉浦奨学生」に、令和元年度は卓球や陸上競技、ピアノ等で活躍している6名(高校生5名、大学生1名)の方が決定しました。

平成4年度に事業を開始して以来、令和元年度までに166名が杉浦奨学生として採用され、過去の奨学生の中には、オリンピック代表や世界大会・アジア大会に日本代表として出場された方、国内外での音楽活動など輝かしい実績を挙げている方などが多数おり、今後の杉浦奨学生も将来の更なる活躍が期待されます。



令和元年度 福原賞表彰式

令和2年2月5日(水)小倉北区役所812会議室にて「令和元年度 福原賞表彰式」を行いました。

「福原賞」とは、本市の小中学生の善行(人命救助等)やボランティア活動、地域貢献で顕彰すべき行為をした児童生徒を表彰するものです。

- 本年度は、
- ・環境委員会が中心になり、ペットボトルキャップを1年間で66.2kg回収し、ポリオワクチン16.5人分を贈った。また、計画委員会が主体となり、毎朝あいさつ運動を行っている。(広徳小 全校児童)
 - ・体調が悪くなった高齢者を大人の方と一緒に介抱し、救急隊に引き渡した。(八幡小 2年女子2名)
- など、小・中学生個人25名と9団体が受賞しました。

